

平成29年度宮城サイクルツーリズム推進事業

背景・目的

東北においては、訪日外国人観光客が観光地等を周遊するための交通手段、足の確保が課題となっているところ、本事業では、宮城県において、海外の自転車愛好家等が、スポーツサイクル等の自転車を県内周遊の手段とし、サイクリングを楽しみながら地域の魅力を体感できるようなサイクルツーリズムを推進することを目的とする。

実施した主な取組の内容

【取組内容】

- ・宮城県内のサイクリングのモデルルート形成・情報発信等を行う、サイクルツーリズム推進協議会の設置に向けて、機運醸成・ネットワークの構築等。
- ・サイクリスト受入のための環境整備に向け、サイクルガイド養成講座を実施等。



【詳細】

- ・宮城サイクルツーリズム推進協議会準備委員会を5回開催。
- ・10人のガイド候補者に対し、サイクルガイドとして必要な基礎知識を習得するための講習(座学・実技)を5回実施。
- ・準備委員会の活動内容を共有するとともに、県外の先進事例を学ぶための「宮城県サイクルツーリズムとまちづくり推進フォーラム」を開催。



得られた成果

- 宮城県内の5エリアで7つのモデルルートを策定(「Miyagi Cycle Tourism MAP」に取りまとめ)。
- サイクルツーリズム推進の課題を整理、関係者間で共有(サイクリスト休憩所の増加・充実、受入宿泊施設の増加等)。
- 宮城県内におけるサイクルガイドの育成。

今後に向けた活動の見通し・課題

- 宮城サイクルツーリズム推進協議会の設立。
- 特に策定されたモデルルートにおける更なる受入体制の強化。
- モデルルートを活用した観光プログラムの造成・販売。